

ZW-7 series

HITACHI

Reliable Solutions

ZW180



ホイールローダ

型式: ZW180-7
エンジン最大出力: 129 kW (173 PS)
運転質量: 14,820 - 15,540 kg
バケット容量: 2.4 - 3.3 m³



Beyond Imagination

想像以上を、体感せよ。

写真は、オプションの熱線付後写鏡(電動調整式)、バケットシリンダロッドガードを装備しています。

THE NEW ZW-

新型ZW-7 シリーズは、生産機械としての基本性能を重視しながら、「より使いやすく、快適に」をテーマにオペレータの作業環境に配慮しました。キャブの内装は、人間工学を元に機器の配置を見直しました。オペレータは、自然にシートに座った姿勢のまま、操作に必要なスイッチパネルやマルチファンクションコントローラに楽に手が届きます。サブモニタは、操作中に少ない視線移動で確認できるよう、右ピラー部に設置。AERIAL ANGLE®カメラシステムやペイロードチェッカーなどの情報を素早く確認できます。考え抜かれた機能と高い品質が織りなす優れた快適性。時代はオペレータファーストへ。



ZW-7シリーズのプロモーションムービーをご覧ください。

本カタログの写真はオプションのクイックカブラ配管、熱線付後写鏡（電動調整式）、フレクリーナ（サイクロン式）、前方作業灯（キャブ用、LED、2灯）、後方作業灯（キャブ用、LED、2灯）、フルフェンダ（マットフラップ付き）、バケットシリンダロットガード、車検用品を装備しています。

より使いやすく、快適に。 オペレータをサポートする機能を搭載。



より使いやすく、快適に
機能性と快適性を兼ね備えた操作空間 **>>> P6-7**

電子制御を駆使し、無駄を省くことで
低燃費に貢献 **>>> P12-13**

反復動作の自動化により
オペレータの負担を軽減 **>>> P8-9**

メンテナンス性向上により
ダウンタイムを低減 **>>> P14-15**

積載量の可視化や後進時の
注意喚起により生産性と安全性を向上 **>>> P10-11**

車両の維持管理をより簡単にICT技術を
活用したサービスソリューション ConSite® **>>> P16-17**



特定特殊自動車
排出ガス2014年基準
適合車



国土交通省
低騒音型建設機械
指定機



2020年燃費基準
100%達成建設機械



より使いやすく、快適に 機能性と快適性を兼ね備えた操作空間

新型 ZW-7 のキャブは、操作に必要な装置を「より使いやすく快適に」をテーマに配置を見直しました。

特長的な箇所は、右ピラーにスイッチパネルと 8 インチサブモニタを配置し、右コンソールにはマルチファンクションコントローラを配置しました。これにより、オペレータは欲しい情報に素早くアクセスでき、作業効率の向上につながられます。

オーディオは Bluetooth® に対応し、スマートフォンなどから簡単に接続できるようになりました。

考え抜かれた機能と高い品質が織りなす優れた快適性。

すみずみまで設計者の心配りの行き届いた操作空間により、お客様の生産性をさらに高めます。



サブモニタとスイッチパネル **NEW**

サブモニタは、操作中に少ない視線移動で確認できるよう、右ピラー部に設置。AERIAL ANGLE®カメラシステムやペイロードチェッカー、後方障害物検知システム (オプション) などの情報を素早く確認でき、作業効率向上と安全性向上に貢献します。サブモニタの下に、作業時に頻繁に使用するスイッチを集約したパネルを配置しました。

AERIAL ANGLE® カメラシステム **NEW**

3つのカメラを使用して車体周囲の270度俯瞰映像をモニタに表示できます。表示映像はお好みにより2つのパターンを選択できます。キャブ屋根から張り出すように設置した側面カメラにより、タイヤ側面の死角を減らす工夫をしています。



周囲映像+後方視界



後方視界



側面カメラ

熱線付後写鏡(電動調整式) **NEW** オプション

バックミラーは電動調整機能を装備しています。キャブ内のスイッチパネルから角度を調整できます。



電動調整機能付きバックミラーと調整ノブ



メインモニタと計器類 **NEW**



大型アームレスト **NEW**



マルチファンクションコントローラ



エアサスペンションシートと運動して動く右コンソール **NEW** オプション



Bluetooth® オーディオ+FM/AMラジオ



スマートフォン&タブレットホルダとUSB充電ポート **NEW**

写真は、オプションの熱線付後写鏡 (電動調整式)、後方障害物検知システムを装備しています。

反復動作の自動化により オペレータの負担を軽減

オペレータの意図したイメージで思い通りに車体が動くこと。
このホイールローダの理想形に近づけるため、さまざまな操作方法とカスタム機能を用意しました。
操作に関連する機能は、従来機より継承された機能も含めると沢山あり、
お客様の作業内容やお好みにより選択でき、より操作しやすい環境を提供いたします。
新型ZW-7では、電気式パイロットレバーを採用し、操作性の向上および制御機能の拡充を図りました。

電気式パイロットコントロールレバー NEW

レバーの短尺化および 30% 低減したレバーストロークにより、操作性が向上し疲労低減に貢献。さらに電気式を採用したことで、バケットキックアウトやシリンダエンドソフトストップなどの新しい制御を拡充しました。



写真は、オプションのエアサスペンションシート、熱線付後写鏡（電動調整式）を装備しています。

オートレベラ

リフトアーム上昇・下降時の自動停止位置およびバケット角度の自動停止位置をサブモニタのメインメニューで設定できます。
これにより、最適な積み込み・運搬・掘削姿勢が保たれ、作業効率が向上します。

バケットキックアウト NEW

設定位置にバケットを戻すことができます。チルト/ダンプの両方向からキックアウト設定ができます。



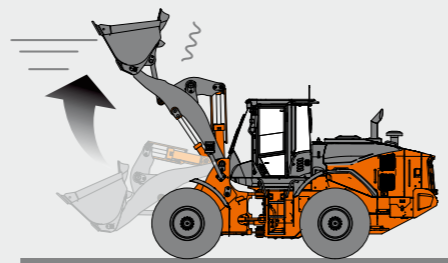
リフトキックアウト

設定位置にリフトアームを戻すことができます。上げ(2カ所)/下げ(2カ所)のキックアウト設定ができます。



シリンダエンドソフトストップ NEW

従来のリフトアームソフトストップ（下降時作動）に加え、リフトアーム上げ、バケットダンプ、チルトの動作時においてもシリンダストロークエンド付近で、スムーズに減速・停止しショックを防ぎます。シリンダエンドソフトストップによって荷役操作時の車体の揺れや振動が少なくなり、オペレータへの疲労を軽減します。



車速感応式クラッチカットオフ機能

速度やペダルの踏み具合を感知して、クラッチが切れるタイミングを調節することでスムーズな積み込み作業を実現します。作業に応じて平地モード/傾斜地モード/OFFモードが選択できます。



フィンガレバー (FNレバー)

操作レバーの電気化により、軽い操作力とショートストロークによる疲労軽減に貢献します。標準の2系統からオプションの3、4系統を選択できます。



デテント設定(第3、4レバー) NEW

デテントとは、レバー位置を保持する機能です。レバーを一時的にフルレバー位置に保持すると、レバーがニュートラルに戻ってもフルレバー状態を保持します。ZW-7では、オプションの第3、4レバーもデテント設定が可能になりました。



微操作モード NEW

作業装置の動作速度を遅く設定することができます。設定できる操作は、リフトアーム、バケットおよびオプションの3、4レバーが可能です。設定できる速度は、下表の 0 ~ 2 特性を組み合わせで選択でき、さまざまな作業装置の動きに応じた速度調整が可能です。

操作特性モード		0 特性	1 特性	2 特性
リフトアームレバー	上げ	通常	通常	遅い (中間位置まで)
	下げ	通常	遅い	遅い
バケットレバー	チルト	通常	通常	遅い (中間位置まで)
	ダンプ	通常	遅い	遅い
3レバー		通常	遅い	微速
4レバー		通常	遅い	微速

初期設定は、0特性です。

積載量の可視化や後進時の注意喚起により生産性と安全性を向上

標準装備のペイロードチェッカーは、バケット内の荷重を計量し、サブモニタ上に表示します。

ダンプトラックへ積載した量も視覚化でき、過積載の防止に貢献します。

作業時の情報はシステムに記録され、作業後の報告書作成にも役立ちます。

あなた自身とあなたの周りの人たちを潜在的な危険から守るために、新型ZW-7 ホイールローダは、優れた安全機能を提供します。後方障害物検知システム(オプション)は、後進時に障害物を検知するとモニタに警告とブザーで注意を喚起し、現場の安全性を高めます。



ペイロードチェッカー

バケット内の荷重を計量し、バケットの積載量とダンプトラックへの積載量を把握することで、過積載や過少積載などの予防に役立てられます。

サブモニタ上の情報は、グラフィカルな荷重ゲージを用いることで、残り重量などの確認作業をスピーディに行えます。

さらにZW-7では、リフトアーム上昇時に荷重計測を行うことで、計測時間の短縮が図れました。



ティップオフ機能 **NEW**

積み込み時にバケットに残っている積載物の再計測を行えます。ダンプトラックへの最終積載量の調整に使用することで、ダンプトラックの目標総積載量の達成をサポートします。

統計データの確認

サブモニタ上からペイロードチェッカーの統計データを確認できます。統計データは、5種(トラック別、オペレータ別、扱い物別、目標重量別、積込回数別)が確認できます。

トラックナンバー別					オペレータ別				
トラック	処理	時間	重量	目標	処理	時間	重量	目標	処理
1	T1	3	12.00t	0.50	1	0	0	0	0.00
2	T1	3	12.00t	1.20	2	9	1024	99999.99	
3	T1	3	15.00t	1.50	3	9	444	1014.75	
4	T2	3	12.00t	2.20	4	8	24	96.00	
5	T2	3	12.00t	2.50	5	8	24	96.00	
6	T2	3	12.00t	3.20	6	4	12	48.00	
7	T3	3	12.00t	3.50	7	4	12	48.00	
8	T3	3	12.00t	3.50					

トラックナンバー別統計

オペレータ別統計



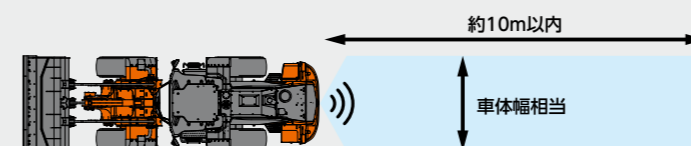
専用スイッチを設置しました。

- 1 荷重の追加
- 2 トラッククリア
- 3 ティップオフ機能
- 4 キャンセル

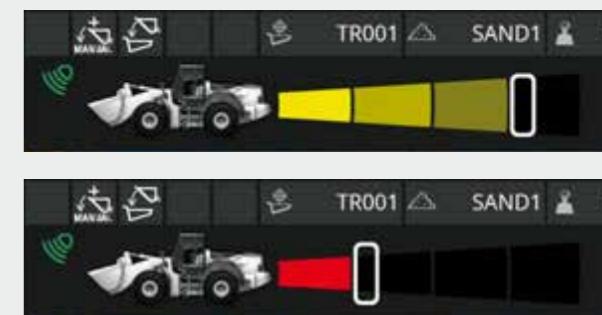
後方障害物検知システム **NEW** オプション

後進時に障害物を検知すると警告を行うサポートシステムです。

車体後方に設置したセンサを用いて、障害物までの距離と自車速度から衝突リスクを演算します。衝突リスクに応じて、モニタ表示とブザー周期が変化し、オペレータに注意を喚起します。



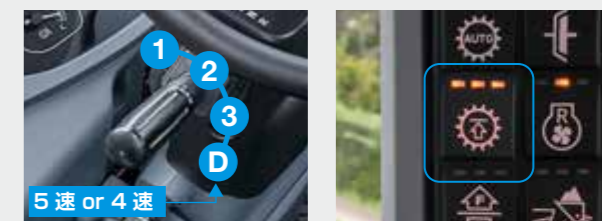
検知範囲



最大変速段制限スイッチ **NEW**

トランスミッションの最大の変速段を4速に固定します。

作業内容に応じて、Dポジションの最大変速段を5速・4速の使い分けができます。

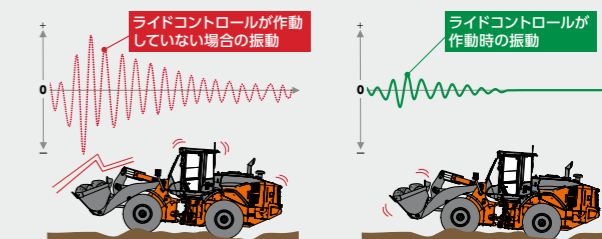


モニタ表示

ライドコントロール

悪路や雪道などの走行時に発生する車両の縦揺れ(ピッチング)や飛び跳ね(バウンス)を打ち消すように、車体の動きを自動制御します。走行時の揺れを低減することで、快適な乗り心地と荷こぼれ防止に貢献します。

ライドコントロール制御の開始速度は事前に設定できます。



電子制御を駆使し、無駄を省くことで 低燃費に貢献

日立建機の新型 ZW-7 ホイールローダは、さまざまなオペレータの作業状況を把握し、目的の動作に対して不要なエネルギーを極力使用しないよう、エンジン回転数を下げるなど電子制御を駆使し、燃料消費量低減を図っています。その代表的な新機能がアプローチスピードコントロールで、燃料消費量低減と操作性向上の両立を実現しました。燃費を制御するもう一つの方法は、オペレータの運転技術です。新開発の ECO ゲージは、普段の操作が燃費にどれだけ影響を与えているかを判断する指針となります。ECO ゲージを見ながら操作をすることで、燃費の低減に役立てられます。



アプローチスピードコントロール **NEW** 特許取得済

作業量あたりの燃料消費量 最大20%低減

(従来機ZW180-6比較。スタンダードモード、アプローチスピードコントロール強、最大作業量での当社試験値による)

ダンプアプローチ時の車速を自動制限することで、無駄な走りすぎを抑制し、燃料消費量を低減する機能です。オペレータはブレーキ操作が減るため、積み込み操作に集中できます。アプローチスピードコントロールの車速制限は、オペレータの好みに応じて3段階(弱/中/強)に調整できます。



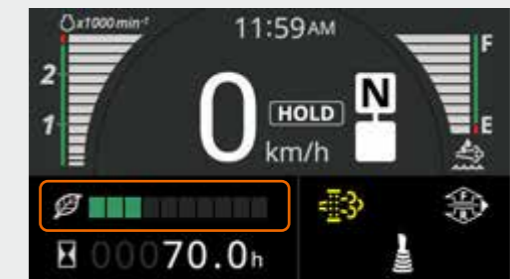
アプローチスピードコントロールの制限速度のインジケータ表示
3段階(弱 11 km/h / 中 10 km/h / 強 9 km/h)

アクティブエンジンコントロールシステム

発進加速、掘削、アプローチ動作、登坂走行状態をシステムが検知し、エンジン回転数を最適に制御します。これにより、燃料消費量(低燃費)と作業量(パワー)の両立をサポートします。

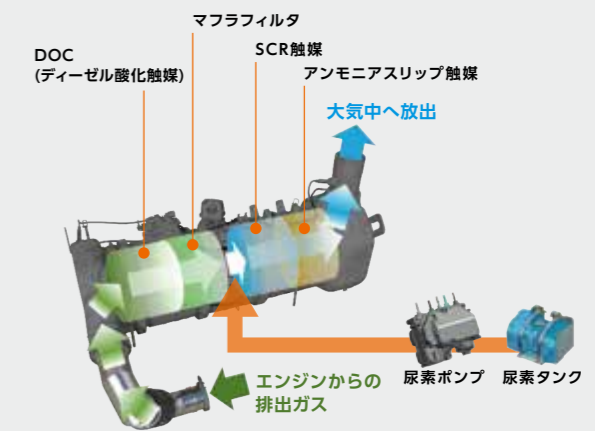
ECO ゲージ **NEW**

現在の燃料消費量の指標を緑色のゲージでモニタに表示し、オペレータに省燃費運転を促します。現在の燃料消費量は、エンジン回転数、メインポンプ圧力、速度比、エンジントルクなどに基づいて計算されます。



NOxを大幅削減する尿素SCRシステム

環境規制が強まるなか、NOxを削減する「尿素SCRシステム」は、次世代のディーゼルエンジンに必須のシステムです。エンジンからの排出ガスは、連結パイプ内で噴射された尿素水と混ざり合い、SCR触媒で無害な水と窒素に還元され、クリーンな排出ガスとなります。



最適なシフトタイミングを自動選択

搭載したトランスミッションはオートモードを標準装備しました。走行負荷に応じて最適なギヤを自動選択し、燃料消費量を低減します。さらに、作業状態を自動で判別する「変速遅延モード」を搭載したことで、最適シフトでの走行、掘削・積み込み時の車速超過を抑制。常時、高速ギヤを選択したままで作業が可能となり、一層の低燃費化に貢献します。

作業内容	速度段	1	2	3	D
掘削作業時	遅延	遅延	遅延	遅延	遅延
積み込み作業時	遅延	遅延	遅延	遅延	遅延
走行時	遅延	遅延	遅延	遅延	遅延

変速遅延モード

3速へのシフトアップを遅らせ、車速の上がり過ぎを抑えます。
長距離走行でも最適な速度段で燃料消費量を抑えます。

メンテナンス性向上により ダウンタイムを低減

プロジェクトを予定どおり、予算内で完了できるかは、車両が休みなく稼働できるかどうかにかかっています。生産効率を高め多くの利益を得るためには、信頼性が高く耐久性に優れたホイールローダが必要です。新型 ZW-7 ホイールローダは耐久性や信頼性が優れているだけでなく、日々のメンテナンス時間を減らすことを考慮して設計されています。例えば、自動逆転クーリングファンは、ラジエータの温度上昇に応じてファン逆転のインターバルを自動調整することで、ラジエータの目詰まりが低減されメンテナンス時間が節約できます。



自動逆転クーリングファンの機能向上 **NEW** 特許取得済

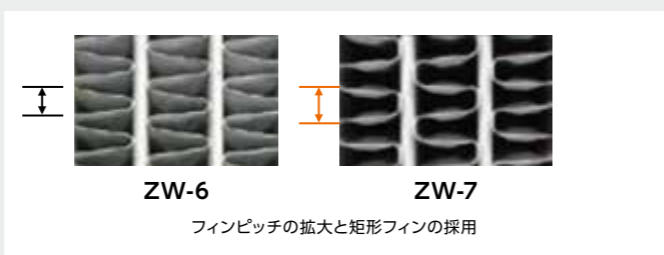
定期的にクーリングファンを自動で逆回転させ、ラジエータについていたホコリなどを飛散できます。ZW-7では、ラジエータの温度上昇に応じて逆転のインターバルを20分または30分に自動調整します。さらに、ラジエータの急激な温度上昇を検出した場合はサブモニタに点検を促すメッセージを表示します。



逆転ファンスイッチ

ワイドフィンラジエータを標準装備 **NEW**

ワイドピッチの矩形フィンを標準装備。目詰まりしにくく清掃回数を減らします。



フィンピッチの拡大と矩形フィンの採用

目詰まりインジケータ付きエアクリーナ

エアクリーナは、インナ/アウトを用いたダブルフィルタを採用。定期的な清掃時はアウトフィルタを外しエアブローなどで清掃できます。エアクリーナが目詰まりを起こした場合は、メインモニタの警告灯でお知らせします。



新型ディスコネクトスイッチ **NEW**

2WAYのスイッチを採用し、通信機能などを維持したままバッテリー電源の遮断が可能です。



完全遮断 (-)
溶接時や長期の休車時に使用

優れたメンテナンスアクセス

上面に跳ね上がるエンジンカバーにより、広いスペースでメンテナンス作業が可能です。メンテナンスポイントは、地上からアクセスできる位置に配置し、容易に点検や部品交換が行えます。

車体右側



- 1 エアフィルタ
- 2 燃料フィルタ (プレ)
- 3 燃料フィルタ (メイン)
- 4 ウィンドウウォッシュタンク

車体左側



- 5 エンジンオイルフィルタ

燃料給油口の変更 **NEW**

給油口の位置を、給油しやすく、ごみの混入が少ない車体右後方に変更しました。



高性能フィルタ内蔵尿素タンク **NEW**

給油口に高性能フィルターフィルタ(23ミクロン)を採用し、埃や不純物から尿素回路の詰まりを防止します。



尿素タンクとフィルター

日立建機が提供するサービスのソリューション

車両の維持管理をより簡単に

ICT技術を活用したサービスソリューション **ConSite**



日立建機は最新のICT技術を使用したConSiteでお客様の毎日のビジネスをサポートします。ConSiteはお客様の機械の安定稼働に貢献するサービスです。日立建機独自の長年の開発、テクノロジーから生まれたレポートがお客様の機械の稼働効率の向上、効率的な運用に貢献します。



定期レポート

一台ごとの機械稼働状況を定期的にレポートします。

配信タイミング…毎月初(前月情報)

レポート内容…… 機械稼働状況、ECO 運転、
部別稼働時間、推定稼働時間、
ペイロード(総積込荷重、積込回数、
過積載警告回数)、燃費効率に影響を
与える動作、車体維持に影響を与える動作、
ラジエータ水温、ラジエータ目詰まりなど

緊急レポート

機械に装着されたセンサから緊急性のあるアラームが発報された際に、アラーム内容をタイムリーにメールでレポートします。パソコン、スマートフォンで受信できます(通信形態はeメール)。

配信タイミング…都度(アラーム発生時)

レポート内容……マシンダウンにつながるアラーム
(エンジン出力ダウン) など



ConSite の説明動画
をご覧ください。



ConSite® Air **NEW**

建設機械から離れた場所でも、遠隔でお客様の機械を見守り、お客様の機械パフォーマンスを保つための遠隔支援ツールです。

■ソフトウェアアップデート

現場をとめることなく、お客様の任意のタイミングで、ソフトウェアのアップデートが可能です。
お客様自身でソフトウェアのアップデートを行っていただく作業例:



詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

■遠隔Dr.

遠隔で車体のモニタリングや故障診断を実施することで、事前に車体の状態を確認することができ、サービス時間の低減につながります。

01 遠隔診断
遠隔で機械の故障診断を実施します

02 モニタリング
機械のセンサ値をリアルタイムで取得

03 画面情報
車体モニタ画面を共有し状況把握

ConSite® Pocket

機械情報をパソコンから利用できるGlobal e-Service Owner's Siteに加えて、スマートフォンのアプリから情報を確認できるConSite Pocketも用意しています。

- 定期レポート、緊急レポート、機械の稼働位置をスマートフォンから確認できます
- 緊急レポート発生時は、プッシュ通知で即座にお知らせします。

ConSite® Shot

機械の日常点検及びレンタル入出庫管理をスマートフォンで簡単に行えるアプリです。

- 質の高い点検報告書が簡単に作れ、お客様社内または代理店との情報共有が簡単にできるようになります。
- レンタル機械をお持ちのお客様は、入出庫点検時にも利用できます。

定期レポート

機械検索

位置情報

アプリはこちらから

負荷状態

レンタル入出庫点検

カメラ撮影

アプリはこちらから

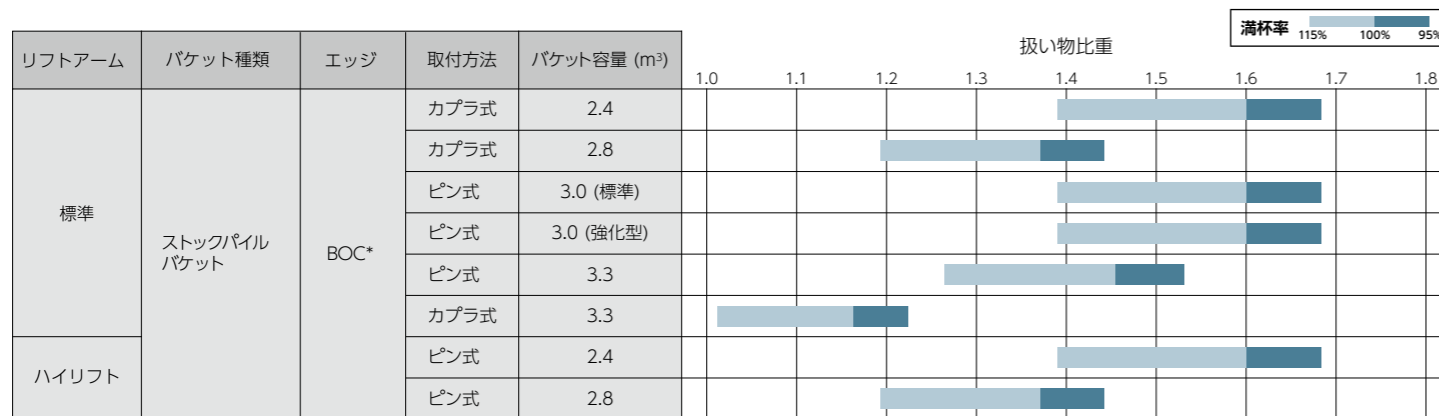
SPECIFICATIONS

仕様

型式	ZW180-7	
車検届出情報	車名および型式	日立 YDR-NTKA
	原動機の名称および型式	カミンズ B67
エンジン	名称	カミンズ B6.7
	最大出力 ECE R120 gross	kW/min ⁻¹ (PS/rpm) 129 / 2,200 (173 / 2,200)
	最大出力 ISO 9249 : 2007 net (JIS D0006 : 2010)	kW/min ⁻¹ (PS/rpm) 125 / 2,200 (168 / 2,200)
	定格出力 ISO 14396 : 2002	kW/min ⁻¹ (PS/rpm) 129 / 2,200 (173 / 2,200)
	定格出力 ISO 9249 : 2007 net (JIS D0006 : 2010)	kW/min ⁻¹ (PS/rpm) 125 / 2,200 (168 / 2,200)
	最大トルク ISO 9249 : 2007 net (JIS D0006 : 2010)	N·m/min ⁻¹ 1,104 / 1,100
	総行程容積 (総排気量)	L (cc) 6,690 (6,690)
最高走行速度	前進/後進	km/h 39.0 / 28.3
速度段数	前進/後進	5 / 3
最大登坂能力	%(度)	46.6 (25)
燃料タンク容量 (軽油)	L	230
尿素水タンク容量	L	25
タイヤサイズ (チュープレス)		20.5-25-16PR (L3)

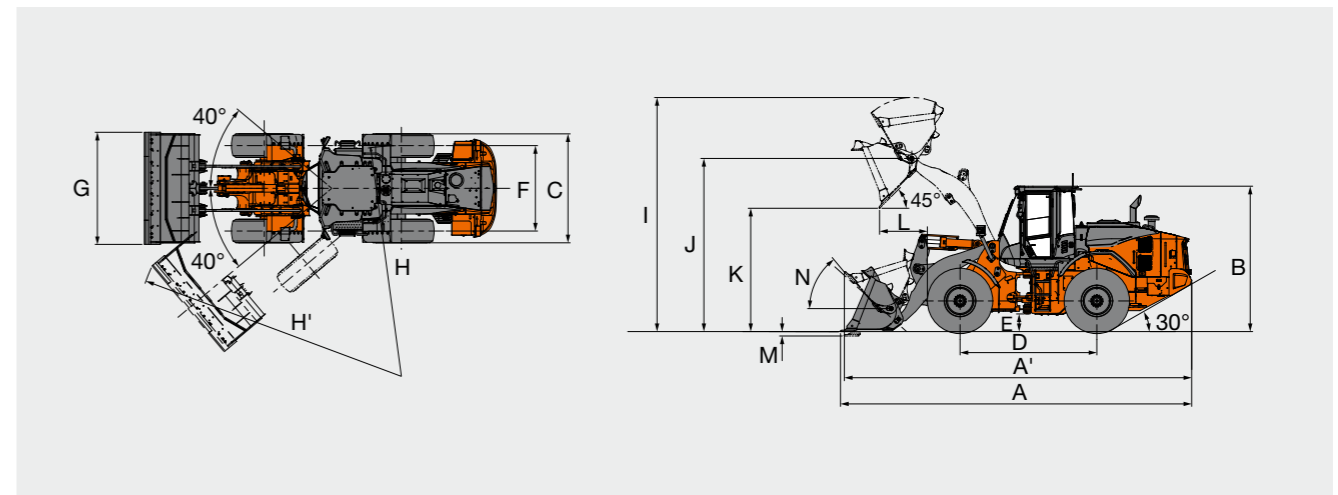
(注) 単位は、国際単位系 (SI) による表示です。() 内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

バケットセレクション



*Bolt On Cutting Edge: ボルトオンカッティングエッジ

寸法



フロントアタッチメント	リフトアーム	標準リフトアーム						ハイリフトアーム	
	バケット種類	ストックパイル						ストックパイル	
	エッジ	ボルトオンカッティングエッジ						ボルトオンカッティングエッジ	
	取付方式	カブラ式	カブラ式	ピン式	ピン式	ピン式	カブラ式	ピン式	ピン式
	バケット容量 (ISO 7546 : 1983) m³	2.4	2.8	3.0 (標準)	3.0 (強化型)	3.3	3.3	2.4	2.8
A 全長 (バケット地上時)	mm	8,060	8,180	8,000	8,000	8,080	8,310	8,330	8,450
A' 全長 (走行姿勢)	mm	8,010	8,100	7,900	7,900	7,950	8,190	8,250	8,330
B 全高 (キャブ上端)	mm	3,305							
C 全幅 (タイヤ外側)	mm	2,610							
D ホイールベース	mm	3,100							
E 最低地上高	mm	400							
F トレッド	mm	2,050							
G バケット全幅	mm	2,690							
H 最小回転半径 (最外輪中心)	mm	5,300							
H' 最小回転半径 (バケット最外側部)	mm	6,270	6,310	6,220	6,220	6,240	6,350	6,380	6,420
I 作業時全高	mm	5,320	5,430	5,340	5,340	5,420	5,360	5,580	5,690
J バケットヒンジピン高さ	mm	3,920						4,320	
K ダンピングクリアランス	mm	2,720	2,630	2,760	2,760	2,710	2,540	3,290	3,210
L ダンピングリーチ	mm	1,140	1,230	1,100	1,100	1,150	1,320	1,130	1,230
M 掘削深さ (水平)	mm	100	100	100	100	100	100	170	170
N バケット後傾角	度	45	45	50	50	50	45	50	50
定格積載質量 (常用荷重)	kg	3,840	3,840	4,800	4,800	4,800	3,840	3,840	3,840
最大掘起力	kN (kgf)	109 (11,160)	100 (10,175)	112 (11,460)	111 (11,360)	106 (10,770)	91 (9,270)	122 (12,400)	109 (11,160)
運転質量	kg	15,380	15,460	14,820	15,100	14,870	15,540	15,190	14,980

注: すべての寸法、重量、性能データは、ISO 6746-1 : 1987, ISO 7131 : 2009, ISO 7546 : 1983に基づいており、各仕様の標準装備品装着時の値です。

OPTIONS LIST

■ : 標準装備 (取り外し可), ■ : 標準装備 (取り外し不可), ■ : オプション, ■ : 見積対応

		バケット			除雪仕様							
		標準仕様	ハイリフト仕様	カブラ仕様	アングリング		スライドアングリング		マルチ			
					ピン式	カブラ式	ピン式	カブラ式	ピン式	カブラ式		
アタッチメント	3.0 m ³ -1.6	ストックパイルバケット (BOC、ピン式)	■									
	3.3 m ³ -1.4	ストックパイルバケット (BOC、ピン式)										
	3.0 m ³ -1.6	ストックパイルバケット (BOC、ピン式、強化型)										
	2.8 m ³ -1.7	ストックパイルバケット (BOC、ピン式、強化型)										
	2.4 m ³ -1.6	ストックパイルバケット (BOC、ピン式、ハイリフトアーム用)		■								
	2.8 m ³ -1.3	ストックパイルバケット (BOC、ピン式、ハイリフトアーム用)										
	2.4 m ³ -1.6	ストックパイルバケット (BOC、カブラ式)			■							
	2.8 m ³ -1.3	ストックパイルバケット (BOC、カブラ式)										
	3.3 m ³ -1.1	ストックパイルバケット (BOC、カブラ式)										
		アングリングプラウ (ピン式)				■						いずれかを選択してください 除雪プラウとバケットは同時選択可 能です。 (いずれかを車体に装着し出荷となります)
		アングリングプラウ (反転エッジ付、ピン式)										
		アングリングプラウ (カブラ式)					■					
		アングリングプラウ (反転エッジ付、カブラ式)						■				
		スライドアングリングプラウ (ピン式)							■			
		スライドアングリングプラウ (反転エッジ付、ピン式)								■		
		スライドアングリングプラウ (カブラ式)									■	
		スライドアングリングプラウ (反転エッジ付、カブラ式)									※1	
	マルチプラウ (ピン式)									■		
	マルチプラウ (反転エッジ付、ピン式)									■		
	マルチプラウ (カブラ式)									■		
	マルチプラウ (反転エッジ付、カブラ式)									■		
操作レバー	2本レバー (前後進スイッチ付)		■								同時選択不可	
	2本レバー&1本レバー (前後進スイッチ付、3系統)				■							
	2本レバー&1本レバー (前後進スイッチ付、4系統)						■					
	2本レバー (前後進スイッチ付、カブラスイッチ付)			■								
	2本レバー&1本レバー (前後進スイッチ付、カブラスイッチ付、3系統)					■						
	2本レバー&1本レバー (前後進スイッチ付、カブラスイッチ付、4系統)							■				
クイックカブラ	クイックカブラ (油圧式、SW操作)		■								同時選択不可	
	クイックカブラ (油圧式、SW操作、3系統)				■							
	クイックカブラ (油圧式、SW操作、4系統)						■					
ガード類	アンダガード (フロント)											
	アンダガード (リア)											
	バケットシリンダロッドガード											
	キャブ前面ガード ※2 ※7											
ウエイト	1,460 kgカウンタウエイト										同時選択不可	
	1,780 kgカウンタウエイト								■			
タイヤ	20.5-25-16 L3 タイヤ (1台分)		■								同時選択不可	
	20.5-25-16 スノータイヤ (1台分)											
	20.5-25-20 スノータイヤ (1台分)											
	20.5R25 タイヤ (1台分)											

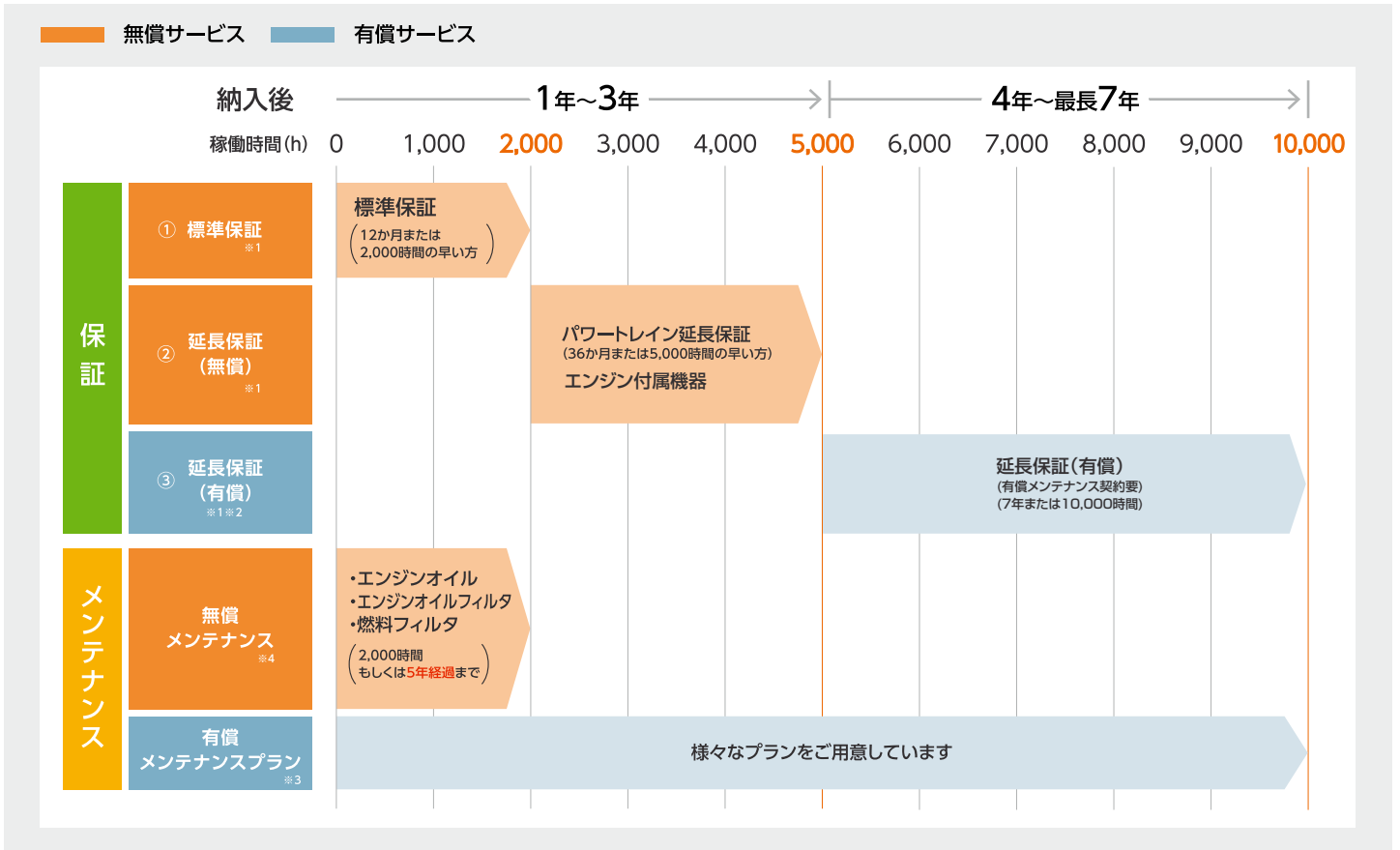
※1: 20PR以上またはラジアルタイヤ、1,780 kgカウンタウエイト装着必須
 ※2: 公道走行不可
 ※3: 日本砕石協会仕様は消火器含む
 ※4: 公道走行の際には道路維持作業車としての認可・登録が必要
 ※5: 使用には一定の条件があります、レインキャップ含む
 ※6: スライドアングリングプラウ (反転エッジ、カブラ式) 装着時のみ選択可
 ※7: 2人乗りキャブと同時選択不可
 ※8: 2人乗りキャブと同時選択不可 (2人乗りキャブに標準装備)
 ※9: 熱線ガラス装着時、バッテリー (大容量) 同時装着
 ※10: 2人乗りキャブはROPS (ISO 3471: 2008)/FOPS (ISO 3449: 2005 LEVEL II) 非対応
 ※11: 追加前方作業灯 (キャブ用) と同時装着不可
 ※12: 追加前方作業灯 (LED) 装着時、前方作業灯はLEDに変更
 ※13: 追加前方作業灯 (高輝度LED) 装着時、前方作業灯は高輝度LEDに変更
 ※14: 追加前方作業灯 (ハロゲン・淡黄色) 装着時、前方作業灯はLEDに変更
 ※A: 工場取付バケット以外を装着する場合は別途設定およびキャブプレーションが必要
 ※B: 荷重計測不可

■ : 標準装備 (取り外し可), ■ : 標準装備 (取り外し不可), ■ : オプション, ■ : 見積対応

		バケット			除雪仕様						
		標準仕様	ハイリフト仕様	カブラ仕様	アングリング		スライドアングリング		マルチ		
					ピン式	カブラ式	ピン式	カブラ式	ピン式	カブラ式	
キャブ	2人乗りキャブ (フロント合わせガラス) 各種熱線ガラス対応 ※9 ※10										
エアコン	エアコン外気フィルタ (ダブル)										
シート	運転席	メカニカルサスペンションシート (布張り)									
		メカニカルサスペンションシート (布張り、ヘッドレスト付き)									同時選択不可
	助手席	エアサスペンションシート (シートヒーター、右コンソール運動式、ヘッドレスト付き)									2人乗りキャブ用
キャブ装備	AERIAL ANGLE®カメラシステム (周囲環境視認装置)										
	ペイロードチェッカー ※A					■	■	■	■	■	■
	電子キーロックシステム										
	消火器 ※3										
	スノーワイパーブレード ※8										
	タコグラフ										
	サンバイザー (ロールアップ式)										
	後写鏡 (電動調整付、熱線付き)										
灯火類	前照灯 (ハロゲン)										同時選択不可
	前照灯 (LED)										
	前方作業灯 (キャブ用、ハロゲン、2灯) ※11										
	前方作業灯 (キャブ用、LED、2灯)										
	前方作業灯 (キャブ用、高輝度LED、2灯)										
	追加前方作業灯 (キャブ用、LED、2灯) ※12										
	追加前方作業灯 (キャブ用、高輝度LED、2灯) ※13										
	追加前方作業灯 (キャブ用、ハロゲン・淡黄色、2灯) ※14										
	後方作業灯 (キャブ用、LED、2灯)										
	後方作業灯 (キャブ用、高輝度LED、2灯)										
電装品	バッテリー										同時選択不可
	バッテリー (大容量)										
	レインキャップ										
	内部吸気式エアクリーナ ※5										
	プレクリーナ (SY-KLONE)										
	ラジエータダストスクリーン										
バックブザー	バックブザー (大音量、オン/オフ切替機能付)										
	フェンダ	フェンダ (マッドフラップ無し、20.5用)									同時選択不可
		フェンダ (マッドフラップ付、20.5用)									
フルフェンダ (マッドフラップ付、20.5用)											
デフ	LSD (リミテッドスリップデフ)										
その他	日本砕石協会仕様 ※3										
	車検用品										
	除雪車看板										
	後方障害物検知装置										
	リアアングミラー										
	エマーゼンシステアリング										

新車保証

日立建機は、安心して機械をお使いいただくために
標準保証後の延長保証期間をお客様ご自身で選択できるプランをご用意しています。



※1 日立建機純正部品を使用した適切なメンテナンスを実施することで各保証が付帯されます。
 ※2 有償延長保証を購入いただく場合、有償メンテナンス契約 (VALUE PACK Five) のご加入が必要となります。
 ※3 有償メンテナンス契約は機種、内容により金額が異なります。詳しくは最寄りの営業所・代理店にお問い合わせください。
 ※4 機械の性能を維持するためには上記メンテナンス項目以外に取扱説明書に記載されている項目の実施が必要となります。レンタル機は無償メンテナンスを除くメニューとなります。

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。機械の色および内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
- 掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。また、オプション品を含んでいる場合もあります。
- 掲載写真には、カタログ撮影用の姿勢のものが含まれています。機械を離れるときには、必ず作業装置を接地させてください。
- 機体質量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械 (整地・運搬・積込み用・掘削用) 運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- 公道を走行する場合は、道路交通法による大型特殊免許が必要です。
- 「AERIAL ANGLE」、[ConSite] は、日立建機 (株) の登録商標です。
- [Bluetooth] は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

日立建機株式会社

東京都台東区東上野 2-16-1 〒110-0015
 ☎ (03) 5826-8150
www.hitachicm.com/global/ja/

日立建機日本株式会社

埼玉県草加市弁天 5-33-25 〒340-0004
 ☎ (048) 935-2111
japan.hitachi-kenki.co.jp



お近くの販売店を検索できます。



正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
 ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

お問い合わせは、お近くの日立建機販売店へ